



# 市原小学校 学校だより

校訓:かしこく やさしく げんきよく



R5.5.29 文責 徳川

山々の新緑が日に日に濃さを増し、吹き渡る風に初夏を感じる季節となりました。5月とは、思えないほどの暑い日もありましたが、市原小学校には、毎日子供たちの元気な声があふれています。今回は、子供たちの学びを支え、応援してくださっている方たちを紹介します。

「後援会」の方々に、学校林の見回りを行っていただきました。私も参加させてもらいましたが、山を分け入り、藪切りしながら時には斜面を登り下り…。学校林の場所を確認し、木や山の様子を確認していきます。木を育てるとき、「祖父母の代に植えた木を、孫の代に切らせてもらう。」とされているそうです。このように毎年作業をし続け、見守り、4~50年ほどして成長した木を伐採して学校に補助金をいただいています。山を守ってくださっている多くの方々の思いの深さに、本当に頭の下がる思いでした。



5月17日に、全校でのいも植えを行いました。体育館横の貸していただいている畑を、事前に耕し、畝をつくっていただき、いざ、全校児童での苗植えです。

当日は、ボランティアの方においでいただき、マルチの張り方や苗の植え方などを教えていただきました。教えていただいたことを上級生が下級生に丁寧に伝えながら、皆で協力して植えることができました。収穫のときが楽しみです。

苗植え後、校長室においでいただいた際、飾ってある写真を見ながら、以前の校区の様子などお話を伺わせていただいた時間も、私にとって楽しいひとときでした。



5月17日の一斉下校の際に、「老人クラブ見守りパトロール」の方がおいでいただき、子供たちに話をしてくださいました。子供たちの下校時間に見守りをしてくださっています。また、地域学校安全指導員さんをはじめ、地域のたくさんの方たちが、子供たちの登下校を見守ってくださっています。いつも、ありがとうございます。



6年生の理科の授業に、南小国中学校の島田先生が来てくださっています。理科の専門の島田先生のお話を、子供たちは興味深々の様子で聞き入っています。

様々な実験をしながら、「なぜだろう?」「なるほど!」な学びを膨らませている子供たちです。



## ふるさとの 景色

朝、子供たちと通学路を歩いたり、校区内をまわったりする中で、市原小校区のさまざまな素晴らしい景色に出会う毎日です。そんな景色をこれから少しずつ学校だよりで紹介させていただきます。

今回一つ目は、「志賀瀬川の光景」です。私が3月末に市原小を訪れたとき、満開の桜が咲き乱れていた志賀瀬川。四季折々の表情を見せてくれ、私のお気に入りの場所となりました。

もう一つは「田植え後の田んぼ」です。我が家が農家だったこともあり、水の張られた田を見るとなぜか穏やかな気持ちになります。小さい頃は、稲苗運びと苗箱洗いが、田植えの時の私の役割だったので、はりきっていたのを思い出します。

